

令和 8 年度第 1 回旭川市農業センター運営懇話会 会議録（要旨）

- 1 日 時 令和 8 年 8 月 2 7 日（木） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 4 0 分まで
- 2 場 所 旭川市農業センター 会議室
- 3 出席者 （参加者）
伊藤 寛範氏、熊谷 佳子氏、佐藤 純一氏、佐藤 慎二氏、
妹尾 弦氏、谷 健太郎氏、中田 陽介氏、百嶋 登志男氏、
福川 英司氏、古谷 司氏、吉田 友弘氏、和田 澄江氏（五十音順）
（市 側）
細矢所長ほか農業センター職員 6 人
- 4 内容
 - (1) 令和 8 年度 旭川市農業センターの取組について
 - (2) 使用料・手数料の見直しについて
 - (3) その他
- 5 会議資料
 - ・令和 8 年度 農業センターの取組について
 - ・使用料・手数料の見直しについて
 - ・令和 8 年度（2026 年度）農業センターのあらまし
 - ・令和 8 年度 旭川市農業センター試験課題等一覧
 - ・令和 7 年度 旭川市農業センター試験成績書（概要版）
- 6 会議の公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者 なし
- 8 内容

【進行役】

それでは、次第に従い進めさせていただきます。

まずは、(1) 令和 8 年度 旭川市農業センターの取組について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

（説明）

【進行役】

ただいま、事務局から説明がありましたが、御質問や御意見等がありましたら、お願いいたします。

【参加者】

「学んで食べてみよう」という講座のシャインマスカット版は、今年いつ開催する予定でしょうか。

【事務局】

今年中の開催を予定していますが、生育状況を見ながらタイミングを判断したいと考えています。

【進行役】

バイオスティミュラント資材を使用した試験に取り組んでいただいている中で、既に、栽培は終わっているかもしれませんが、どのような効果があったのでしょうか。年度末の成績発表会での報告を期待しております。

【事務局】

6月中旬・7月上旬、播種の2作期でハウレンソウとコマツナについて、3種類の資材を各2回ずつ散布する区と何も散布しない区の計4種類の試験区で実施しました。作物の見た目だけではわかりにくいところもあるため、最終的にまとめた数値で効果を見ていただきたいと考えています。

【参加者】

資料4の土づくり、5の残留農薬に関する部分になりますが、土壌診断手数料について、国費を活用した北海道の補助事業をしっかりと進めていただくとともに、これによって分析点数の増加が予想されることから、農業センターでもしっかりと対応していただくようお願いします。また、旭川市のクリーン農産物生産が推進されるよう、残留農薬分析への支援についてもよろしくお願いします。

【事務局】

補助事業に関連し、分析点数が増加する部分についてはしっかりと対応していきます。また、残留農薬分析の支援に関しては、来年度に向けた事業を検討しているところです。

【参加者】

先日、農業センターに土壌診断（総合分析）をお願いしたところ、結果の説明を直接聞くことが出来、大変参考になりました。お願いしてよかったと感じました。

このサービスは市内限定なののでしょうか。私の友人で、土壌分析機関がない他自治体に在住の方がいるのですが、市民との料金の違いがあってもよいので市外料金の設定があるとありがたいです。

【事務局】

土壌診断をご利用いただきありがとうございます。

市外料金は今のところ設定がないのですが、今後の課題として検討が必要であると考えています。

【参加者】

試験で使用している下水汚泥肥料は、どこで作られていますか。中空知のほうでは、自治体が利用者に無料で配布している事例がありますが、今後の旭川市の方向性はどのようなになっているのでしょうか。また、肥料の成分は検査していますか。

【事務局】

下水汚泥の肥料化に関する事業は、水道局が主体となって実施しています。農業センターの使用している肥料は試作品であり、肥料としての性能は特に問題ないと判断しています。製品化については、肥料としての性能以外にも今後検討していかなければならないことがありますので、まだわからない状況です。

【参加者】

シャインマスカットは、将来的に旭川でも安定して収穫ができ、面積が増えていく可能性はあるのでしょうか。

【事務局】

農業センターで試験を始めて6年目になります。課題は低温対策であり、冷害や未発芽などもありながら、これまで様々な方法で試験を行ってきました。ここ数年は農業センターでの生育は良好となり、収穫量も増えてきましたが、生産者のほ場では、まだ冷害の影響があり、順調に生育していないところもあることから、まだ安定した栽培ができるとはいえない状況です。今年度は栽培マニュアルをしっかりと整備していきたいと考えています。

【進行役】

続きまして、(2) 使用料・手数料の見直しについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料に基づいて説明)

【進行役】

ただいま、事務局から、説明がありましたが、御質問や御意見等がありましたら、お願いいたします。

【参加者】

土壌診断手数料の値上げは、試薬の価格なども上がっていると思いますので、ある程度はやむを得ないことと理解しています。

【進行役】

最後に、(3)その他ということで、全体を通じて御意見や御感想、情報共有などがあれば皆さんからお願いいたします。

【参加者】

新規就農希望者の研修生の対応について、引き続きよろしくお願いします。

【参加者】

残留農薬分析・土壌診断に関する支援について、引き続きよろしくお願いします。

【参加者】

旭川青果物出荷組合連合会として、今年度も10課題の試験に取り組んでいただき、課題の選定についても柔軟に対応いただき感謝します。

先ほどお話のありました、シャインマスカット生産者の現状につきましては、販売出来た方もおりましたが、生産量を増やす段階となると、まだ試験中というところです。収穫まで5年の期間が必要なこと、近年は市場価格も下がりつつあることから、慎重に取り組んでいきたいと考えています。

【参加者】

土壌診断について、10月より前の飛び込みによる分析点数増加を想定していますか。

【事務局】

今回の料金改定は値上げとなるため、全体としては例年の分析点数より減少するのではないかと予想しています。10月申請分からの改定となるため、可能であれば9月中に出していただくと旧料金で対応できまのでよろしくお願いします。

【参加者】

毎年、学校農園ではお世話になっており、大変ありがたいと感じております。

1つお知らせがありまして、11月26日に予定している参観日に合わせて、収穫した野菜を販売する「ミニ市場」を開催する予定です。野菜には児童が考えたレシピも付ける予定ですので、ぜひ足を運んでいただけたらと思います。

【事務局】

11月26日ですね。わかりました。

【参加者】

神居雨紛地区市民委員会としてお話しさせていただきますが、近年は熊や鹿、アライグマ、キツネなどが頻繁に出没しています、このような動物たちの住処にならないように、農業センター敷地内の樹木等の管理をしっかりとお願いしたいと思います。

【事務局】

この件につきましては以前から御指摘をいただいております、御迷惑をお掛けしていることとお詫びします。予算の関係で今年度中に終わらせるのは難しいのですが、北西側のヒバの剪定と堆積している剪定枝の処分も進めていきます。

【参加者】

資料に新規就農者数12名とありますが、研修生が就農した地域を教えてください。

【事務局】

東旭川、旭正、永山、神居、西神楽となっています。

【参加者】

シャインマスカットの普及拡大に協力したいと考えていますが、もし苗木があれば分けていただく方法はあるでしょうか。

【事務局】

シャインマスカットの苗の譲渡・販売は種苗法による規制がありますので、お分けすることはできません。剪定した枝も同様です。

【参加者】

私は農業センター以外の施設で農産加工をすることがあります。今回の使用料の値上げについては、どこの施設も同様だと思いますが、しばらくの間、安価な料金だったため、やむを得ないことと思います。

【参加者】

試験研究をはじめ、様々な業務で連携させていただき、農業センターには日頃から大変お世話になっております。引き続きよろしくお願いします。

【進行役】

繰り返しになりますが、バイオスティミュラント資材の試験について、効果検証が難しい中で試験に取り組んでいただき大変ありがたいと感じています。高価な資材を使用するため、費用対効果等、生産者に有効な結果報告がされるよう期待しております。

私からは以上になります。

【進行役】

それでは、以上をもちまして、会議を終了させていただきます。

皆さま、円滑な会議の進行に御協力をいただき、ありがとうございました。

【事務局】

本日は、貴重な御意見や事例を紹介していただきありがとうございました。

今後とも、農業センターの運営に御協力をいただきますようよろしくお願いいたします。